



JASDAQ

平成 26 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社タカショー
代表者名 代表取締役社長 高岡 伸夫
(JASDAQ・コード7590)
問合せ先 執行役員
経営管理本部長 井上 淳
(電話：073-482-4128)

平成 27 年 1 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 3 月 6 日に公表した平成 27 年 1 月期(平成 26 年 1 月 21 日～平成 27 年 1 月 20 日)の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 1 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 1 月 21 日～平成 27 年 1 月 20 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前 回 発 表 予 想 (A)	19,490	1,209	1,194	679	55.29
今 回 修 正 予 想 (B)	18,130	670	710	400	32.58
増 減 額 (B-A)	△1,360	△539	△484	△279	—
増 減 率 (%)	△7.0	△44.6	△40.5	△41.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 1 月期)	18,069	1,006	973	508	43.04

2. 修正の理由

当社グループを取り巻くガーデニング業界におきましては、消費税率引き上げの影響による駆け込み需要などにより、新設住宅着工数は低水準ながら増加基調となったものの、消費税率引き上げ後の需要の落ち込みや大雪による雪害等による施工業者の不足等、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、売上高はプロユース部門においては順調に推移しましたが、ホームユース部門においては、消費税率引き上げ後の市場の低迷に加え、春の立ち上がりが遅れたことによるガーデン用品の売上の伸び悩み、また梅雨入りが早まり梅雨の期間が長引くなどの異常気象により、日除け商品の売上が大きく減少したことから、当期の売上高は前年より増加したものの計画を下回る見込みであります。

また、利益面においても、製造原価が圧縮できたものの為替が円安に振れたことによる売上総利益の減少ならびに今後の売上拡大を目的とした先行投資となる生産設備の導入や営業拠点強化、経営の多角化への対応・業務効率の改善を目的とした基幹システムの導入等による営業費用の増加および業績不振の子会社の清算および整理を進めたことによる費用の増加により、通期連結業績につきましては、前回予想値よりも利益が減少する見込みであります。

なお、当社グループは、来期に向けエクステリア市場向け新商品の投入、新事業（カタログギフト等）への参入、生産設備、営業拠点および基幹システム導入など先行投資による投資効果の実現などにより、さらなる売上拡大、利益向上に向け邁進して参ります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は当社を取り巻く様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上